

## I. 審議事項

### 第1号議案 2022年度事業報告承認の件

#### 2022（令和4）年度事業報告（総括）

2022年度は、コロナ禍で自粛していた入学式、ふれあい交流祭などの行事は期初の計画通り実施することが出来ました。また、大学提携授業は形を変えて（当カレッジで一同が会せるホールを用意し、リモート講座として）実施しました。

夏休み直前の7月28日から約1ヶ月間「医療非常事態宣言」発出のため休講としました。同時に、環境省・気象庁より熱中症警戒アラート発信により注意喚起をし、休講した学科は補講等の調整により予定通り実施することが出来ました。

#### 今期の活動報告（総括）

- 1 厳しい予算でのスタートでしたが、子どもの健全育成事業（子ども起業体験スクール事業）も予定通り実施しました。また、他団体（NPO法人つながるいのち）との協働事業として北大阪コミュニティスクール（NOC S）事業実施に向けて基本協定を締結し具現化に向けた活動を始めました。
- 2 各部データを共有し意思疎通を図るべく各業務のデータのバックアップ先として、NASシステムを導入して業務の効率化を進めましたが、セキュリティーの問題等もあり、今後対応していきます。
- 3 中期計画2年目として取り組みましたが、コロナ禍における社会情勢の変革に対応すべく、再三の見直しを余儀なくされ、纏めに至らず次年度に継続します。
- 4 新規事業開発として期末にチームを発足し、シニアハウス運営会社に施設での講座提供と募集要項に広告掲載の提案を行い現在折衝中です。新たな人材発掘迄にはいたらなかったが、次年度に向けた足がかりとなりました。
- 5 コロナ禍で7月28日から1ヶ月間の「医療非常事態宣言」発出、「熱中症警戒アラート」の運用等で行動制限ありましたが、大学提携・共通講座・ふれあい交流祭など一同会する機会もあり仲間づくりができました。また、短期講座でも午後の活動を開始しました。
- 6 2名の聴覚障がい者の受講生を迎え、サポートしましたが、今後参加者が増えていく中で、すべての障がい者に対してのサポート体制についての問題提起となりました。
- 7 懐徳堂記念会協力講座総合文化を学ぶでは、オンラインを併用の講座として初めてチャレンジし、無事終えることが出来た事は、担当者の皆さんの努力が大きかった。今後の運用について、問題解決に向けて取り組みます。
- 8 10周年記念は、実行委員会で進め、特に記念誌発行は、立ち上げ当時のメンバーが少なく、過去の記録を回想しながらの纏めとなり、短期間に外注に依頼することなく、実行委員で、式典当日の記録誌までも編集出来たことは、担当各位の努力によるものです。  
また、式典当日、多数の来賓者を迎え豊中市立文化芸術センター大ホールで、受講生・クラスアドバイザー（CA）・理事を始め多くの皆さまのお陰で盛大に開催することができました。

- 9 コロナ禍において同窓会との情報交換は、一回実施しましたが、ONCC年間行事の実施に伴い入学式・共通講座・ふれあい交流祭・10周年記念式典と講演音楽の集い等への参加を頂き、情報交換の場としました。
- 10 安定・利便性・安価な教室確保に向けて、前期から協働事業を実施する他団体所有の北大阪生涯学習ホールを借用が出来、「身近な問題をすばやく解決」・CA/教務会議等に運用できました。一方当初予定していた教室(公民館)の登録団体への参画が手違いにより今年度の登録団体扱いが出来ず、急遽「外国文化を楽しむ」の教室を変更し受講生にはご迷惑をかけました。
- 11 ホームページの充実には、リアルタイムに行事・大阪府からコロナ対策等の掲載、動画での配信等工夫を凝らしたメッセージを発信出来、チラシ等の印刷物にQRコード掲載も徹底出来ました。一方フェイスブックのさらなる活用は来期の検討課題とします。
- 12 教室運営は、CAと連携を密にして、教務部学科担当者が教室に出向き、教室運営の相談・フォローを行い円滑に進むよう支援しました。

以上